

株式会社竹中製作所

業種 ボルト、ナット製造・表面処理・電子機器製造 従業員数 150名



見える化から始めた改善活動と組織づくりで 機械稼働時間が月200時間増加！



優れた品質の特注ボルトの開発や、自社開発の特殊防錆コーティング事業を通じ、社会のインフラを支える株式会社竹中製作所様（以下、竹中製作所様）は、生産性向上のためには現状分析が必要と考え、『A-Eyeカメラ(エーアイカメラ)』を導入しました。『A-Eyeカメラ』から取得したデータを経営判断や改善活動に利用し、機械稼働時間を月200時間増加させることができました。

右 執行役員 村井 和広様
左 ボルト事業部 製造部 部長代理 森 章様

A-Eyeカメラの導入効果

Before

POINT 1 設備の稼働状況がわからない

POINT 2 人の配置が正しいか判断ができない

POINT 3 生産性向上のために機械稼働時間を増やしたい

After

稼働状況の「見える化」に成功
取得したデータを経営判断に活用

データをもとに仮説を立て、
人員配置を見直し、多能工化に成功

改善活動を継続し生産性が向上
機械稼働時間が200時間増加！

A-Eyeカメラ導入成功のポイント

- 稼働率を数値化し、現状と目標を全社で共通認識化
- 『A-Eyeカメラ』のデータを人員配置・経営判断に活用
- グループ内でフォローし合いながら改善活動が行える組織づくり

企業情報

所在地：〒578-0984 東大阪市菱江6丁目4番35号（本社）
電話番号：06-6789-1555
資本金：4,680万円
従業員数：150名
企業HP：www.takenaka-mfg.co.jp
事業内容：プラント・建造物設計用等のボルト製造・販売事業、先進高強度樹脂化技術を活用した表面処理事業、電子機器開発事業



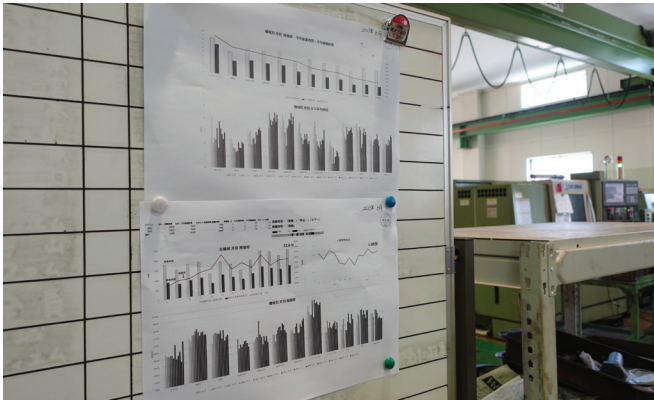
▶▶ 生産性向上に向けて『A-Eyeカメラ』導入

将来のリスクを見据えて稼働状況の見える化に着手

村井様 将来起こりうる人手不足などに対応するため、生産性向上に向けた取り組みを実施することになりました。そのためには、稼働状況を把握したいと思い、価格も安価で専門知識がなくても運用できる『A-Eyeカメラ』を導入することにしました。

稼働率を数値化し、全員で共有

村井様 今まで稼働率を定量的に見る考えがありませんでした。『A-Eyeカメラ』で、現状を数値化したところ、現状の把握と目標設定、意思疎通がしやすくなったと感じています。



ホワイトボードに稼働率を掲示し、情報共有
目標の見える化でモチベーションアップ

▶▶ 稼働率アップに向けた取り組み

改善活動を通じて組織が変化
機械稼働時間も月200時間増加

森様 各部門のリーダーや社員と課題や目標を共有しました。ヒアリングを実施し、組織内に「課題を解決して目標を達成しよう」という雰囲気作りを心掛けました。

製造現場では、機械の担当が属人化しており、お互いあまり関与しない個人作業が多くみられました。そのため、機械稼働率の集計を、機械別のみでなく、関連する複数工程に属する機械で構成したグループ単位でも行うようにしました。

すると、自分が担当する機械以外の作業内容や、グループ全体の稼働率を意識した行動をするようになりました。

多能工化も進み、お互いにフォローし合えるような組織に変化していったことも、稼働率アップにつながったと思います。

機械稼働時間200時間増加に向けて実施したこと

- ▶ 作業の優先順位を明確化
- ▶ 『A-Eyeカメラ』のデータを参考に人員配置の見直し
- ▶ お互いにフォローしあえるように多能工化を推進
- ▶ 稼働率の数値を共有し、稼働率を意識できる環境づくり
- ▶ 稼働率をチーム単位で集計、改善活動等もチームで取り組めるような仕組みづくり

▶▶ データを根拠に経営判断

仮説を立て、経営層に改善策を提案
投資計画の立案にもデータを活用

村井様 数値をもとに「人員配置の変更」と「多能工化」で、機械稼働率の改善が期待できるのでは？と仮説が立てられました。

今は、人の採用を提案するときも『A-Eyeカメラ』のデータを活用しています。「人を採用すると機械稼働時間が増えて、生産性が向上し利益率アップにつながる」ことの根拠となるデータは経営判断の指標になります。

『A-Eyeカメラ』で見られる数値データは具体的な投資計画立案にも役立っています。

▶▶ 今後の目標について

データを活用し、改善活動を継続
更なる機械稼働率向上を目指す

村井様 データは機械の稼働率の推移を見るだけでなく、施策の効果測定や、設備投資をはじめとする経営戦略の策定にも活用できます。今後も『A-Eyeカメラ』のデータを参考に、生産性向上を推進するための取り組みをつづけていきたいと思っています。



今後も竹中製作所様は生産性向上に向けて、PDCAサイクルを回し、改善活動を続けていく

取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。
(2023年7月) ※部署、役職、内容等は、すべて取材当時のものです。

お問い合わせ

株式会社 **テクノア**
TECHNOA

岐阜県岐阜市本荘中ノ町8-8-1

☎ 058-206-2316

🌐 www.technoa.co.jp 岐阜・東京・大阪・九州

A-Eye
CAMERA

AI・IoT事業部

🌐 <https://www.techs-s.com/product/a-eye-camera>

✉ miot@technoa.co.jp